

浸潤性乳管癌における組織不均一性の検討

1. 研究の対象

2020年1月1日から2023年10月24日までに国立がん研究センター東病院で乳房生検及び、乳房摘出術を受けており、かつ包括的同意が得られている方。但し、Invasive ductal carcinoma ではない症例や、生検が他院で施行された症例、両側乳房切除や再生検等で当院において3回以上検体採取が行われている例は除きます。

2. 研究目的・方法

乳癌における Histological grade と Nuclear grade は予後や治療効果を予測する因子として病理診断書への記載が求められていますが、時に生検と手術検体の間で評価の不一致が生じることがあります。本研究は当院で生検と乳房切除が行われた検体の病理画像の解析を行い、評価の不一致がこういった場合に生じやすいのかを検討することを目的としています。

研究実施期間：研究許可日から2028年12月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：切除病理標本のブロックおよびプレパラート

情報：年齢、性別、画像所見、手術所見、病理所見、治療経過、予後など

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。相談は原則として電話で行うこととし、研究責任者が責任をもって対応致します。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。本研究は単機関研究であるため用いる試料及び情報を外部・他の機関に提供する事はありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立がん研究センター東病院 病理臨床検査科

〒277-8577 柏市柏の葉 6-5-1

TEL: 04-7133-1111

担当者：三宅広彦

研究責任者：国立がん研究センター東病院 病理・臨床検査科 石井 源一郎